

3学期（0学期）が始まりました。

1月9日（火）

本日より3学期がスタートしました。学校には生徒たちの元気な声が戻ってきました。今学期は3年生にとって9年間の義務教育の仕上げの3学期となります。私立、公立高校の入試に全力で挑み、有終の美を飾って欲しいと思います。校長講話では、1年の締めくくりの3学期（0学期）として、学習面でも部活動でも、今以上の力をつけてほしいこと、①忘れてはいけないこと 1.17 3.11 と②明確な目標設定について、（短期）過程に関する目標・（中期）パフォーマンスに関する目標・（長期）結果に関する目標の目標設定の仕方について話しました。さて、7日は「七草」、七草粥を食べる日でした。小さく切ったお餅を入れると腹持ちもよくおいしいです。七草とは、セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロです。国語の授業等で一生懸命に春の七草を覚えめました。ゴギョウはハハコグサ、ハコベラはハコベ、スズナはカブ、スズシロはダイコンのことです。この七草をお粥にして1月7日に食べる七草粥の習慣は、江戸時代に広まったそうです。七草の種類は時代や土地によって異なるそうですが、いつの時代もどんな土地でも、年頭にあたって豊年を祈願し、「今年も家族みんなが元気で暮らせませうように」と願いながらお粥を食べる気持ちには変わりありません。ところで、なぜ七草粥を食べるのでしょうか。七草は、早春にいち早く芽吹くことから邪気を払うといわれました。そこで、無病息災を祈って七草粥を食べたのです。また、七草は日本のハーブとも言われます。そのハーブを胃腸に負担がかからないお粥で食べようというのですから、美味しいものを食べ続けて疲れが出はじめた胃腸の回復にはちょうどよい食べ物とされています。しかし近年、七草、ゆず湯、菖蒲湯など昔からの風習を行う家庭が減ってきており、七草粥を食べたことがない子どもも増えていきます。時代が変わっても、七草粥や節分など、昔からの風習は大切にしたいものです。明日10日（水）から給食開始で3年実力・1、2年生の課題テスト（5時間）です。

本日より3学期がはじまりましたが始業式では以下の講話をしました。

○忘れてはいけないこと （ 1. 17 3. 11 ）

○「目標設定」について

元日に発生しました令和6年石川県能登半島地震により被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げますとともに一日でも早い、平穏な日常が戻りますことをお祈り申し上げます。また今年も、ホームページには、青垣中学校の日々の様子をアップしていきますので、ご覧ください。新しい年が皆さまにとって良き一年となりますようお祈り申し上げます。本年もよろしく願いいたします。



第3学期 始業式



全校集会

生徒会長挨拶

